



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

北海道支部

もっと伝えたい。北海道の赤十字のこと。

赤十字 ほっかいどう

2021
秋号



特集 行動しよう! 防災・減災

—いのちのために今動く—



CONTENTS

| | |
|-----------------------------|-----|
| 特集:行動しよう!防災・減災 | 2~4 |
| News・Topics 令和2年度活動資金使途報告ほか | 5~6 |
| わが町の赤十字奉仕団・表彰者名簿 | 7 |
| インフォメーション | 8 |

行動しよう！防災・減災

—いのちのために今動く—

全国各地で毎年のように災害が起こり、大きな被害をもたらしています。

日本赤十字社が行った調査では、災害への備えを行っている人の割合は約5割。2人に1人は何の備えもないまま災害に遭う可能性があることがわかりました。

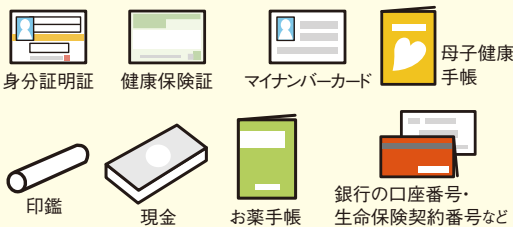
災害からいのちを守り、暮らしをつなぐためには、災害が起こってからでは遅く、事前の備えが重要です。

9月1日は防災の日、6日には北海道胆振東部地震から3年を迎えます。いざという時に自身や家族、大切な人たちのいのちを救うために具体的な行動を起こしてみませんか。

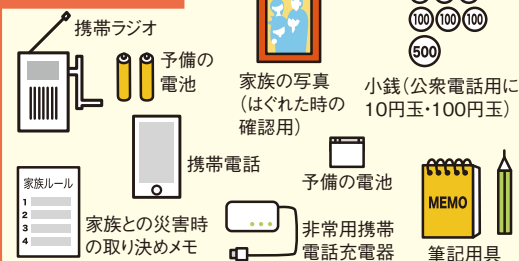
例えば ●非常時の持ち出し品を準備する。
(参考例)

貴重品

※現物を持ち出せなかった場合に備えて、必要に応じてコピーを入れておく



情報収集用品



便利品など



食料など



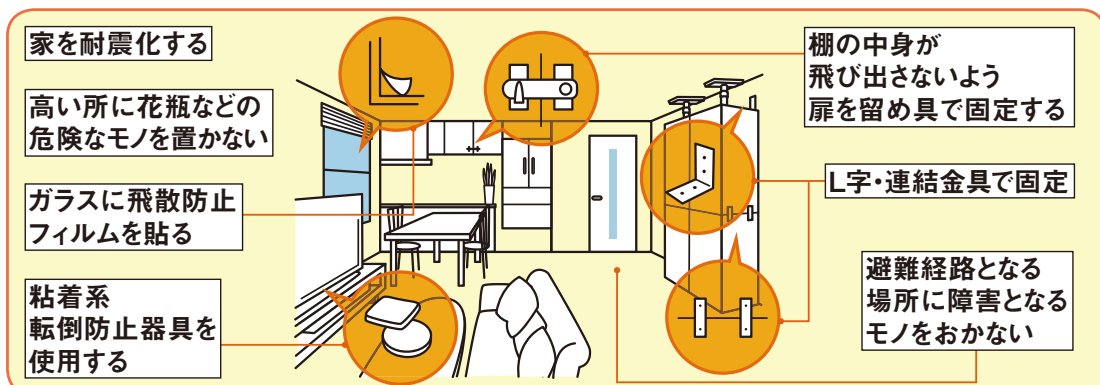
清潔・健康のためのもの



個々の実情に応じて必要となるもの



●地震から身を守るために自宅の安全なスペースを確保する。



出典：赤十字防災セミナー 災害への備え

赤十字では防災・減災に役立つ情報を提供しています

小冊子「赤十字防災セミナー 災害への備え」

赤十字防災セミナー（後述）のカリキュラムの1つである「災害への備え」をもとに、災害時に役立つ知識をコンパクトな冊子に分かりやすくまとめました。

身近に起こり得る災害の知識を深め、自分自身や地域の皆さんでできることを考え、災害への備えを進めるうえでの一助としてご活用いただけるように構成しています。

ご家族や地域の皆さんで、防災について考えるきっかけとしてご活用ください。



北海道支部ホームページからPDF版をダウンロード



赤十字防災セミナー

赤十字奉仕団等を対象に、防災・減災の知識や技術を学ぶ赤十字防災セミナーを開催しています。

| | |
|----|---|
| 対象 | 赤十字奉仕団、施設職員 |
| 内容 | <p>下記のカリキュラムより組み合わせが可能です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 日本赤十字社の紹介 2 災害への備え <ul style="list-style-type: none"> ・地震からいのちを守る ・津波からいのちを守る ・大雨・土砂災害からいのちを守る ・感染症から身を守る 3 災害エスノグラフィー※ 4 災害図上訓練(DIG) |

※災害エスノグラフィー…被災者の経験談などを通じて、過去の災害を追体験することで被災の具体的なイメージを理解する。

防災教育

青少年赤十字加盟校を対象に「総合的な学習の時間」サポートプログラムとして、職員や奉仕団員を派遣して赤十字が持つノウハウをお伝えする「赤十字出前講座」では、青少年赤十字メンバーに防災に関する知識をわかりやすく伝えています。



➡次のページでは「災害時に役立つ紙スリッパ」の作り方を紹介

災害時に役立つ「紙スリッパ」を作ってみよう！



避難所での利用や感染症対策として活用できる使い捨てで衛生的な紙スリッパの作り方をご紹介します。

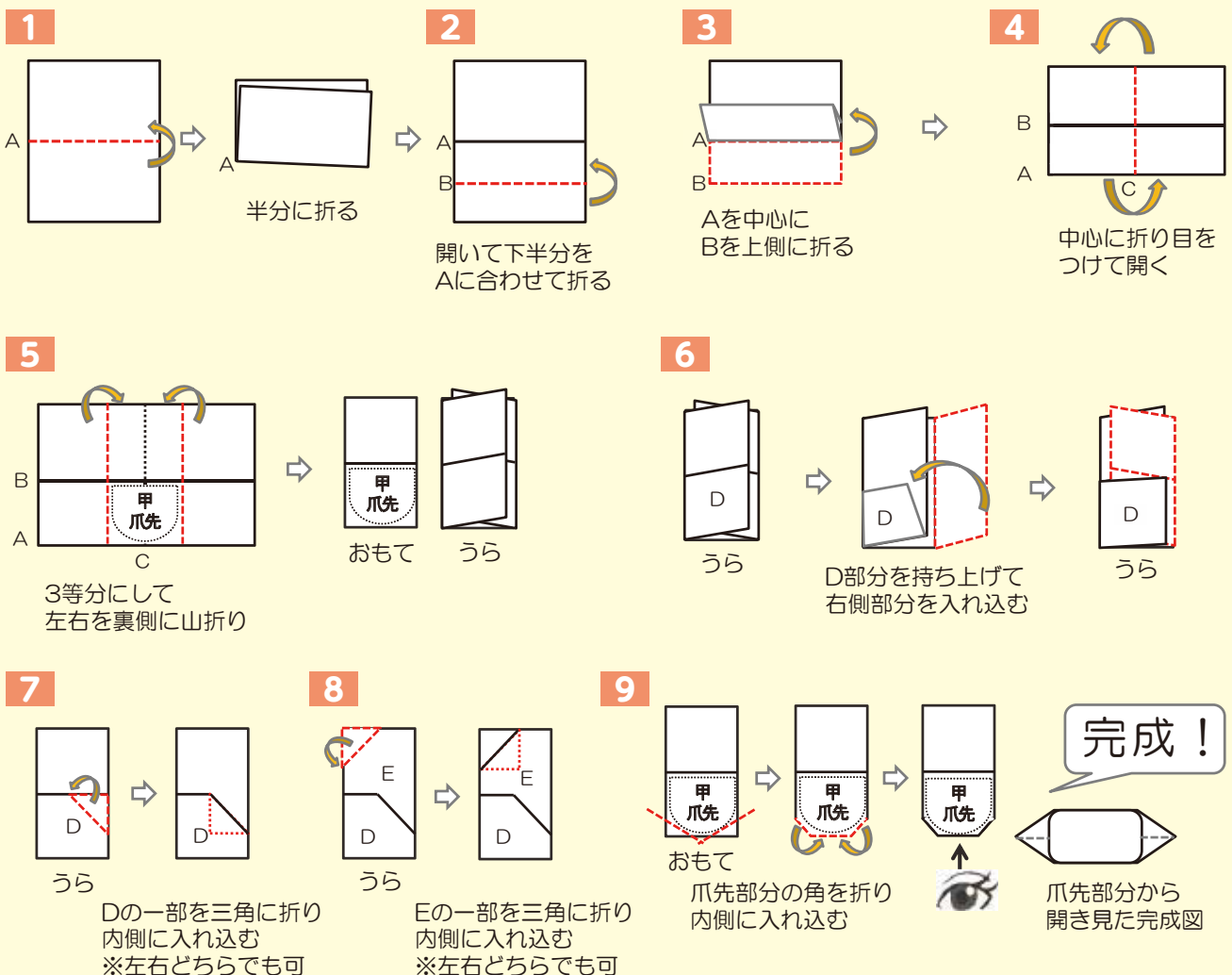
(資料提供:札幌市赤十字奉仕団)

サイズ目安

- ・新聞折り込み広告(小)子ども用
- ・新聞折り込み広告(大)大人用(標準幅:Mサイズ13cm・Lサイズ15cm)

※新聞紙は床の材質や履き方によっては床や靴下にインクが付着する場合がありますので、新聞折り込み広告やカレンダーなどを使いましょう。

●作り方



令和2年度活動資金使途報告 ー皆様のご協力に感謝申し上げますー

令和2年度、活動資金として4億579万9,067円のご協力をいただきました。

ご協力いただいた活動資金をもとに、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じつつ、災害救護活動や救急法等の普及、ボランティア活動の支援など、いのちと健康を守る活動を行うことができました。

令和2年度 活動トピックス

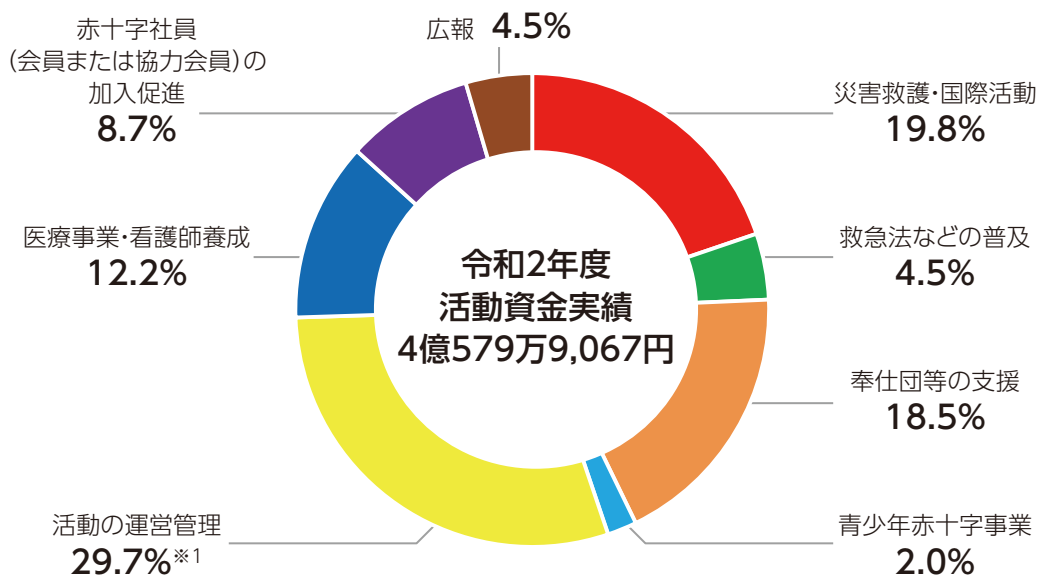
感染症まん延下を想定した災害救護訓練

令和2年10月、道内赤十字病院救護班・こころのケア要員とオンラインで結び、新型コロナウイルス感染症が収束していない状況で発生した災害救護活動の検討など、感染症対策に特化した訓練を実施しました。



赤十字ボランティアの活躍

新型コロナウイルス感染症の流行初期にはマスク不足が深刻となりましたが、全道各地の赤十字奉仕団では手作りマスクを作製し、地域の医療施設や福祉施設、学校などに寄贈する等の活動を実施しました。



※1 赤十字はボランティアが中心となって活動していますが、事業が円滑に進むよう専任の職員がボランティアとの調整や救援物資・資材の調達、訓練や講習会などをはじめとする事業の企画・立案・調整・報告などを行っています。運営管理費にはこれら職員の人件費を含め、社屋の維持管理費・諸税などが含まれています。

※2 構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはなりません。

落雪に埋まった少女を救助 救急法指導員を表彰

昨シーズン、記録的な大雪に見舞われた岩見沢市。落雪による事故が相次ぎましたが、市内在住の救急法指導員が落雪に埋まった少女を助け、尊い命を救ったとして日本赤十字社より表彰状が贈られました。

表彰を受けたのは岩見沢市救急法赤十字奉仕団に所属する星 功 指導員。

昨年12月下旬、自宅前を除雪中に近所で叫び声が聞こえたため駆けつけると、小学生の女の子が屋根からの落雪で首から下が埋まり、身動きができなくなっていました。

星さんは直ちに少女を雪の中から助け出し、救急法の知識を活かしてけががないかなどを確認。救急車が到着するまで付き添いました。

表彰状を受け取った星さんは「救助時、冷静に判断し対処できたことは、救急法指導員として救急法講習等を実施していたことが役立ったと実感しています。この貴重な体験を生かし、今後の救急法講習等普及活動に携わっていきたいと思います」と話してくれました。



表彰を受けた星さん

サマー献血キャンペーン2021を開催 学生ボランティアが献血協力を呼びかけ

去る7月10日(土)、11日(日)、アリオ札幌(札幌市)にて札幌学生献血推進協議会(トマトクラブ)主催による「サマー献血キャンペーン2021」を開催しました。

本キャンペーンは、毎年7月に道内5か所の学生ボランティア団体により、各地域において学生の視点で企画立案から当日の運営までを行い、若年層を中心に多くの方に献血を身近に感じていただくことを目的として実施しています。

キャンペーン両日とも気温が上昇するなか、約30名の学生が参加。店舗出入口前で協力への呼びかけを行い、献血後には感謝の気持ちを込めて記念品をお渡しするなど、両日合わせて140名の献血ご協力をいただくことが出来ました。

12月には全国統一の「クリスマス献血キャンペーン」を控えており、参加者からは今回の経験や反省を活かしたキャンペーンにしたいとの意気込みが聞かれました。



協力を呼びかける学生ボランティア

空襲犠牲者慰霊祭を開催 (伊達赤十字病院)

76年前の昭和20年7月14日、太平洋戦争において伊達赤十字病院は米軍機からの空襲を受け、防空壕に避難しようとしていた患者2名、看護師1名、看護学生1名が犠牲になりました。

同院では毎年ご遺族や看護学校OGの方々にご参列いただき、空襲犠牲者慰霊祭を執り行っております。

今年の慰霊祭は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、職員と看護学生のみで執り行いましたが、参列が叶わなかった方々の分まで心をこめて献花させていただきました。



職員・学生が慰霊碑に献花しました

伊達赤十字看護専門学校で 最後の入学式

令和6年3月をもって閉校する伊達赤十字看護専門学校(伊達市)。

4月6日(火)、記念すべき第70回を迎える入学式が同校で開催され、最後の入学生となる3名が式に臨み、看護の道へ新たな一歩を踏み出しました。



式に臨む3名の入学生

赤十字奉仕団

地域に根差したさまざまな

活動を行う北海道の赤十字奉仕団。

その中からいくつかの奉仕団の

取組みを毎号紹介しています。

札幌市スポーツ救護赤十字奉仕団

私ども奉仕団は昭和35年(1960)12月8日に発足し、60年以上が経ちました。

原点はスキー人口の増大とともに事故・障害が激増した等により、行政機関、医療機関、スキー関係者等で構成する「札幌スキー障害防止対策協会」が発足し、前身の札幌市スキーパトロール赤十字奉仕団に委託され、札幌市の各スキー場を多い時は11の山をパトロールしたことにあります。当時、今では考えられないくらいスキーによる事故・障害がありました。

その後、平成7年(1995)には、奉仕団活動の主流となったスポーツ大会団体からの救護支援要請から名称を「札幌市スポーツ救護赤十字奉仕団」



ジュニアパトロールの救急法講習



ジュニアパトロールの組ごとのスキー訓練

に変更し、今日に至りました。

活動も通年にわたり、スキー事故の防止活動に加えて、札幌市及び周辺で行われる各種スポーツ大会の救護救急部門の策定から実施に至るまでのすべてを担当する赤十字組織として関係団体や市民から認知される団体に成長しました。

ともに大会救護支援を行っている札幌市無線赤十字奉仕団、札幌市理学療法赤十字奉仕団、医師、看護師、検査技師等、沢山のひと々と協力して60年以上の間、スキーパトロールだけでなく通年にわたり市民の健康のために、札幌マラソン、札幌国際スキーマラソン、豊平川マラソン、6時間リレーマラソン、北海道すこやかマラソン、北海道を歩こう大会及び障害者スポーツ等の支援活動を行っています。

また、青少年育成活動として今年度45期を迎えたジュニアスキーパトロールは地域奉仕の芽を育成しています。

委員長 羽賀 俊夫

たくさんのご協力ありがとうございました

活動資金にご協力いただき、表彰された方々を紹介します(敬称略) (令和3年3月～6月表彰伝達分)

金色有功章

函館市 今 均
富良野市 橘 裕子
支部 アスピア化粧品
株式会社

銀色有功章

函館市 一戸 春光
岩見沢市 寿量山本妙寺
千歳市 千歳市芸能
赤十字奉仕団

伊達市 橘 厚子
富良野市 食彩池田屋株式会社
石狩市 アミーケ・インターナショナル
株式会社

社長感謝状

札幌市 札幌市ダンスライフ赤十字奉仕団
函館市 岩崎 義則
函館市 公益財団法人杉崎福祉財団

石狩市 マルウロコ酒井建設工業株式会社
支部 有限会社アウルメディカル
支部 よつ葉乳業株式会社

第33回赤十字北海道大会を開催します

昨年10月に開催を予定し、新型コロナウイルス感染症の影響により延期となった「第33回赤十字北海道大会」を令和3年9月30日(木)、北見市・北見市民会館で開催します。(新型コロナウイルス感染症の感染状況により開催を見合わせる等の対応をとる場合があります。)

赤十字大会は社資のご寄付やボランティア活動などで赤十字事業の発展に功績のあった方々を表彰する場であり、当日は有功章、感謝状の贈呈のほか、新型コロナウイルス感染症に対する活動報告等を行う予定です。



表彰を受ける受章者(前大会)

令和3年度 第1回評議員会

令和3年度第1回評議員会は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、文書により「監査委員の退任に伴う候補者の選出について」、「令和2年度事業報告」及び「令和2年度一般会計歳入歳出決算並びに各特別会計歳入歳出決算(案)」が審議され、原案どおり承認されました。



日本赤十字社北海道支部は胆振東部地震など近年頻発している自然災害や新型コロナウイルス感染症への対応など、北海道をはじめ国内外で130年以上にわたり人道支援活動を行っています

日本赤十字社北海道支部への遺贈寄付についてご理解ください
遺贈・相続財産寄付に関するパンフレットをお送りします

お問い合わせ **遺贈・相続財産寄付担当 011-231-7126**(平日9:00~17:30)

発行元



日本赤十字社 北海道支部
Japanese Red Cross Society

札幌市中央区北1条西5丁目
TEL:011-231-7126

発行日

令和3年9月1日

公式 facebook・Instagram で情報発信中!



日赤北海道



<https://www.jrc.or.jp/chapter/hokkaido/>



ユニバーサルデザイン(UD)の考え方に
基づき、より多くの人に見やすく読みま
ちがえにくいデザインの文字を採用して
います。